

可茂会後援会報

第 32 号

2024.12.25

発行

社会福祉法人
可茂会後援会
可児市瀬田1648-9
発行者 加藤 政博
TEL 0574-64-3366

健全な環境・人づくりで明るい未来を

可茂会後援会会長 加藤 政博



地方の人口

減少と高齢化
が大きな課題
となつて、行
政や関係者の
皆さんが種々

論議を重ね対策が講じられています
が、なかなか歯止めがかからない状
況が続いています。

そうした中、このごろ地方ばかり
でなく日本全体の現状を顧みてふと
思うのですが、人口減少よりもっと
迅速に対処しなければならぬ事が
あるのではないかと言うことです。
それは、日本人の資質の低下を止め
て、向上に努めることだと思います。

今のままでは、仮に人口が増えた
としても、社会の発展増強には繋が
らず、自分勝手での役に立とうと
いう気持ちに欠ける人や、家族や友
人など大切な人を貶（おとし）めて
しまうような人が多くなれば逆に大
変なことになってしまいます。

私が育った戦後昭和の日本は、貧
しい中にも一家団らんがあり、子供
の将来に明るい希望を持つ家庭が多
く、育てる楽しみが、辛さを凌（し
の）いでいました。

ここ数年、社会や家庭環境も急速
に変化し生活面では便利で豊かに
なった反面、人と人の繋がりが軽薄
となり世の中が信頼できず希望が持
てなくなつて、不安や不満を抱くよ
うになった人が増加しています。ま
た、近年ネット社会の発展に伴い、
SNSの影響力が良くも悪くも取沙
汰されるようになりました。今年

行われた東京都知事などの各首長選
挙、衆議院選や関東地方で多発した
闇サイト殺人事件などで問題点が顕
著化されて来ました。特に、SNS
サイトでの子供のいじめ問題、ス
ポーツ選手を始め地道に努力してい
る人への誹謗中傷などは目に余るも
のがあります。最近、海外でも問題
になっていますが、国や関係業界の
一体となった対策検討が必要と考え
ます。

いじめや誹謗中傷は、かつて障が
い者に対する社会的認知度が低かつ
たころ日常的に存在し、保護者の方
の中にもその痛みを経験されている
人は多いと思います。

現在、障がい者については、多く
の関係者のご理解、ご尽力によって
環境の改善がかなり図られています。

す。しかしながら、日本人の道徳心・
資質の低下やSNSの弊害問題等に
ついては、喫緊の課題であり、今後
の国・関係機関の対策などが急がれ
ますが、今一度、各組織や家庭にお
いても、道徳・倫理を大切にした人
間教育や向上に努め、安心して暮し
やすい街づくりをを目指すことが、
ひいては社会の発展増強に繋がるの
ではないでしょうか。

さて、令和6年度の後援会活動に
つきましては、昨年復活した、役員
会や手をつなぐ育成会東海大会、可
児市健康フェアへの参加などを実施
しました。

可茂学園への支援活動については、
2年先の移転に向けた「可茂学園移
転建設事業」へ6月12日に後援会か
ら1、600万円の寄付を行いました。

後援会員の皆様のご理解、ご協力
に改めて感謝申し上げます。

なお、学園への随時支援につきま
しては、昨年同様、特に学園からの
要望がなかった為、次年度以降の学
園支援費に充当させて頂く事にしま
すので宜しく願います。

最後に、会員の皆様には、日頃か
らご支援ご協力を頂き心よりお礼申
上げますとともに、皆様方のご健
康とご多幸をお祈り申し上げます。

花と緑とからくり時計の 可茂学園

「一〇三万円及び一〇六万円の壁」

施設長 山口 和己



可茂会後援会
会員の皆様にお
かれましては、

当法人の事業
運営に対しまし
て多大なるご理
解とご支援を賜

り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、去る十月二十七日に行われた
衆議院議員選挙の結果、与党が大敗
し、躍進した国民民主党が公約として
掲げた「一〇三万円の壁の撤廃」が協
議のテーブルに載ったことはご承知の
とおりであります。

私個人としては、国民民主党の主張
に従って一気に一七八万円に壁を引き
上げれば税収が七く八兆円減少してし
まうとのこと、諸手を上げて賛成す
る気にはなれません。所得税のみなら
ず、市県民税（地方税）にも大きな影
響を及ぼすことから、個人の取り扱い
を増やすだけの「木を見て森を見ず」的
な政策は、子孫に負担を押し付けるこ
とにも繋がりがかねないと考えます。

ただ一方で、可茂会にお世話にな
り、施設長として経営の一部を担わせ
ていただいている身としては、雇用面
において現在の「一〇三万円の壁及び
一〇六万円の壁は非常に疎ましく、

「この壁が無くなってくれたらなあ」
と考える日々が特に年末の時期に多く
なっています。

お察しのとおり、「働き控え」です。
非課税及び被扶養要件の限度額である
一〇三万円を超えてしまう恐れがある
とのこと、十一月から十二月にかけ
て欠勤するパート職員が生じ、その穴
埋めが容易ではありません。一〇六万
円の壁については、当可茂会では、本
年十月一日に一〇一人以上から改正さ
れた五一人以上の事業所には数名及ば
ず、辛うじて壁はありませんが、これ
は単に職員が十分に補充できないこと
による、いわば「怪我の功名」に過ぎ
ません。十分に職員を配置すれば、五
人以上の事業所となり、そうなれ
ば、週二〇時間以上のパート職員は全
員厚生年金保険の被保険者にならな
く、はいけないこととなり、ここで一〇
六万円の壁がそり立つことになり、
ここでも「働き控え」が生じてしま
います。

さらに、現在全国の最低賃金が毎年
引き上げられ、岐阜県でも本年十月か
ら時間給一、〇〇一元に引き上げら
れ、可茂会では処遇改善手当の反映も
あって、時間給一、三〇〇円に引き上
げたところです。

この賃上げが、さらに年収を上げる
ことになり、壁への到達が一層早くな
り、ひいては欠勤時間が増え、職員不
足の期間が長くなるという、なんとも
皮肉な結果を導いてしまっているの
です。

政府、国会での議論がこれから進ん
でいくことと思いますが、手取りを
増やすために税収を減らすなど、財源
を軽視した無責任なものではなく、手
取りは現状維持として、年金制度、保
険制度、税金制度もしっかり成り立っ
ていくことを望みます。働ける国民一
人ひとりが働き控えをするのではな
く、一層働いて、納めるべきものは納
める世の中になれたらいいと思ってい
ます。

最後に、移転建設事業の進捗につ
いてご報告いたします。去る六月十二
日、可茂会後援会様より正式に一、六
〇〇万円ものご寄付をいただき、当事
業の財源に充てさせていただきまし
た。

九月末には、造成工事に係る入札に
より業者を選定し、十月より造成工事
が始まっております。現在、国及び岐
阜県からの補助金に関する書類を提出
するとともに、建築設計の確定に向け
た最終チェックを行っているところで
す。次年度に入りますと、建築事業
に係る競争入札によって事業者を選定
し、当該年度末の完成に向けて進めて
いくことになります。

資源回収報告

資源回収は、皆様のご協力をいただき実施しております。
引き続き、よろしくお願いいたします。

■ 資源回収売上実績 令和6年12月1日現在（単位：円）

実施日	令和5月11月25日	令和6年5月6日	合 計
売 上	6,340	6,920	13,260
可児市奨励金	—	2,680	2,680
合 計	6,340	9,600	15,940

【回収品目】 アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌
※スチール缶、ペットボトル、ビンは回収していません。

寄付金目録を贈呈しました

令和6年6月12日、後援会長（右側）から理事長
への寄付金目録の贈呈が行われました。可茂会後援
会は、令和6年度総会決議によりまして可茂学園

移転建設事業のた
に1,600万円を
可茂学園に寄付い
たしました。





「手をつなぐ育成会東海北陸大会」



令和6年9月28日、「第56回手をつなぐ育成会東海北陸大会・岐阜大会」が羽島市で開催されました。可茂会（可茂学園）からは後援会役員を含む14人が参加しました。



手をつなぐ育成会東海北陸大会に参加して

安江 剛生

9月28日、手をつなぐ育成会東海北陸大会岐阜大会が羽島市で開催されました。

大会スローガンは、「その時」共にできること。今こそ見つめなおそう仲間の絆です。

アトラクションのあと、大会式典の中で本人決議文の発表があり、災害訓練の時に障害者本人が困ったことや手助けしてほしいことを話されました。

1、トイレのこと

・車いすで入れるトイレがあるか心配だった。

・仮設トイレに入れなかった。理由としては水洗設備がなく、きちんとドアのある個室ではなく、初めて見るトイレだった。

2、避難のこと

・避難所は、歩いて行くには遠すぎる。家族がバラバラになるのが不安。

・恐怖を感じると動けなくなるので、緊急時に避難できるかわからない。

・どうして避難しなくてはいけないのか理解できないので、連れて行ってほしい。

3、受付の時

・自分の名前は言えるが電話番号は怪しい。並んで待つ、夜は静かにするなどのルール

ルが理解できない。

4、避難所では

・じっとしてられない、座ってられない、他人の冷たい視線を感じる。

・プライバシーを守れる空間が欲しい、家族がそばにいないと不安がとける。

など、訓練でも不安があるとのことでした。

その後、シンポジウムで厚生労働省の方が、災害時の福祉避難所開設の取り組みや、避難所における障害児者への配慮等についての話をされました。

それから、石川県の育成会の方のお話で能登半島地震では災害時にパソコンや一般電話は情報がとれない、復旧の早い携帯電話での安否確認では、LINEグループにつながっていたことが有効であったこと、一般住宅と比較して耐震、防火設備が備わっていたグループホームが避難場所になったこと。しかし、ここ数日間の水害で被害があったことなどを話されました。

今度、新設される可茂学園も地震や水害にも有効な建物で、施設利用者の安全と災害時の避難場所にも利用できれば良いと思います。

環境整備(草刈り)をしました



後援会の業務委託で可児市シルバー人材センターの皆さんに可茂学園、麦の丘、三ツ池ホームの敷地斜面の草刈りを行っていただきました。

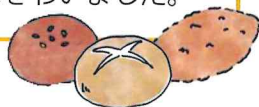
(可茂学園：令和6年5月19日撮影)



「健康フェア可児」に参加しました

令和6年度第31回健康フェア可児が10月13日に可児市文化創造センター ala で開催されました。

可茂会後援会は、麦の丘で焼いた「焼き立てパン」と可茂学園で作った「鍋敷き」、「コースター」を販売しました。天候にも恵まれ、多くの人でにぎわいました。



「健康フェア可児」に今年も参加して

伊賀 左織

今回で三度目の参加になった「健康フェア可児」。

昨年は、出店場所が奥のデットスペースで目立たない為、お客様がなかなか入って来なくて苦戦した思い出が…。

今年は飲食スペースの設置があり、いま流行りのキッチンカーが数台来ていました。

可茂学園が麦の丘のパン販売がメインということもあり、キッチンカーに挟まれての販売に。

キッチンカーの駐車を考えてなのか、建物とは全く反対側の駐車場のテント販売なので、販売スタート時は全くお客さんが来ませんでした。

こんな調子で全部販売できるのか…、少し不安に…。

しかし、昼近くになってきた頃には、昼ごはん目当てのお客様がたくさん来ていただいて、一気に売れました。

前回、売れ行きの悪かった「ちくわパン」を無くし、新商品として「さつまいもあんパン」が仲間入り。

女性や子供って、さつまいも好きですよ。なかなかの売れ行き

でした。それから、お惣菜系のコロッケ、ウインナー、カレーパンは、ご飯代わりに人気でした。

メロンパンやチョコデニッシュは、お子様連れに大人気でした。

最後まで苦戦したパンは昨年同様、豆パンでした。昨年も最後まで残っていたので…。

同じ豆系で、あんパン、さつまいもあんパンがあるので、無くても良いかな、と思いました。

反省点としては、やはりクリアムパンを販売できるといいですね。小さいお子様やご年配の方には、やわらかくて食べやすいので人気があるかと…。

やわらかくて甘いと言えば、蒸しパンなんかも良いですよ。あとは、昼ごはん代わりのお惣菜系が少ないので、増やすと良いかも…。

また、チーズを使用したパンも売れるかと…。シンプルにハムチーズ、ツナマヨチーズ、青のりじゃこチーズなんかも良いですね。

マヨネーズ味やピザ味のチーズ系のパンなら、早く売れると思います。

令和六年度

後援会員名簿

=敬称略=

特別会員

〔二〇〕 吉田整備(株)

エース薬局広見店

(株)三宅設計

広和自動車(株)

正会員

〔三〇〕 長瀬 邦夫

加藤 政博

〔二〇〕 山本 孝盛

揖斐 好久

宮川 春子

〔二〇〕 前島 宗直

村瀬 正樹

宮越美知代

(有)フェニックス

小境電気工事(株)

(株)新興設備

ジェイアイシーセントラル(株)

(株)濃飛葬祭

千賀石油(株)

(株)セイコー

日本ゼネラルフード(株)

(株)和泉

菅井 省二

小川 裕一

一瀬 節江

桑畑 直喜

伊賀 光邦

山岡 郁穂

加藤 敏明

藤村 恒行

堀井 幸一

山田 輝世

斉藤 道夫

狩川 正光

小島 孝三

曾我 巨樹

畑尻 都

宇野 剛由

育成会員

〔二〇〕 堀田 泰史

山田多美恵

桑畑 澄子

齊藤みはる

長尾 和子

佐々美佐子

井藤三千子

伊藤 克人

和田 雄樹

川村 雅哉

奥田 智恵

桑畑 靖紀

加藤あゆみ

谷口 里子

鈴木かなえ

渡辺 浩英

加藤 拓男

川合 哲也

高橋 将也

藤野三津子

桑畑千代美

加藤 幸子

遠藤八重子

河合 清子

小栗 意夫

伊藤 博人

高橋 将也

木村 好富

花井 一彦

吉田 昌義

山口 和己

鈴木 広行

堀 智子

石原 福美

中西 敦子

荻山百合子

寶亀 久代

佐々 立夫

高村 峰子

藤田 秀子

柘植 和廣

河合みゆき

伊藤 光子

〔二〇〕 大前 貞子

山本 信男

渡辺美知夫

〔三〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔五〇〕 小島九十男

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

賛助会員

〔五〇〕 小島九十男

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

高橋 祐太

長谷川侑香

太田真由美

塩谷 志保

平手 志歩

兼子 雅代

平林なつみ

井戸 駿介

原 和也

加納 学

山口 遼

丸山 雅

小嶋ゆうこ

山口祐実奈

川合圭伊子

松村 知樹

石橋 陽奈

澤邊みつる

林 昌樹

加藤ほのか

千田優之介

井戸なのは

前島恵津子

金城里佳子

杉山 洋志

大野起代子

渡辺須磨子

大野 率子

石原佐喜夫

上田 節雄

長瀬 寿

石原 洋子

武藤 行子

脇田 純子

水野 信子

宮原 香代

泉濱 巳織

安藤 節子

鈴木 純子

伊藤眞理子

櫻井佳代子

佐藤 陽子

渡辺 美幸

田中真由美

山本美智子

石原すみえ

熊谷 恵子

柴田 美雪

可児 伸子

渡辺 日鶴

渡邊 愛里

川口 菊代

佐藤奈緒美

〔令和六年十二月一日現在〕

令和五年度
社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,610,000	1,530,000	-80,000	
特別会員	150,000	90,000	-60,000	30,000円×3口
正 会 員	1,200,000	1,190,000	-10,000	10,000円×119口
育成会員	180,000	186,000	6,000	3,000円×62口
賛助会員	80,000	64,000	-16,000	1,000円×64口
2. 雑 収 入	21,416	36,110	14,694	
バザー収入	0	4,180	4,180	健康フェア売上
資源回収	17,000	22,880	5,880	アルミ缶等回収
奨 励 金	4,000	9,040	5,040	可児市より補助金
預金利息等	416	10	-406	利息
3. 前期繰越金	299,584	299,584	0	
合 計	1,931,000	1,865,694	-65,306	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	10,000	16,508	6,508	弁当、お茶等
2. 事 務 費	630,000	359,934	-270,066	
通 信 費	10,000	7,798	-2,202	切手代
印刷製本費	40,000	38,280	-1,720	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	1,986	-8,014	コピー用紙
施設整備費	520,000	311,670	-208,330	草刈り業務委託
雑 費	50,000	200	-49,800	収入印紙
3. 振込手数料	5,000	4,760	-240	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,286,000	0	-1,286,000	施設整備積立金
5. 次 期 繰 越	0	1,484,492	1,484,492	
合 計	1,931,000	1,865,694	-65,306	

収入総額 1,865,694円

支出総額 381,202円

収支差額 1,484,492円(次期繰越)

監査報告書

令和5年度の可茂後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。よって適正であることを認め報告いたします。

令和6年4月1日

監事

前島宗直



社会福祉法人可茂会後援会
会長 加藤 政博 殿

梅田孝子



特別会計報告書 施設整備積立金

(単位：円)

	収入	支出	残高
平成30年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000	0	11,702,000
可茂学園テレビ2台寄付(令和2.2.10)	0	440,000	11,262,000
令和元年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000	0	12,262,000
可茂学園テレビ1台寄付(令和2.11.27)	0	100,000	12,162,000
令和2年度積立金(めぐみの農協)	1,000,000	0	13,162,000
可茂学園殺菌灯付スリッパ1台寄付(令和3.11.1)	0	240,000	12,922,000
令和3年度積立金(めぐみの農協)	1,100,000	0	14,022,000
令和4年度積立金(めぐみの農協)	1,000,000	0	15,022,000
令和5年度積立金	0	0	15,022,000

可茂会後援会にご加入を
年間会費
特別会員 三万円
正会員 一万円
育成会員 三千元
賛助会員 一千元
可茂学園施設整備資金確保のために、新会員
のご加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四一三三六六



会 長 加藤 政博
副会長 安江 剛生
理 事 道 家 義昭
理 事 伊 賀 光邦
理 事 余 語 潤一
会 計 柴 畑 直喜
監 事 前 島 宗直
監 事 梅 田 實美
事務局 伊 藤 克人
事務局 井 戸 駿介

令和六年度
可茂会
後援会役員